

# 平成29年度 全国学力・学習状況調査の結果から

我孫子市立高野山小学校  
教 務 部

## 国語A問題（主として知識）

- 県平均・全国平均を大幅に上回った。
- 観点別にみると、すべての項目で平均を上回ったが、特に「書くこと」が高い。
- その反面「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」は平均を上回るものの突出度が低い。  
「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」
- ▼設問別にみると、1問平均を下回った。  
A7(2)漢字を書く（4年生のきぼう者）

## 国語B問題（主として活用）

- ◎県平均・全国平均を大きく上回った。
- ◎観点別に見ても全設問で全国平均を上回っている。特に記述式の問題では平均を大きく上回った。
- ◎設問への無回答率が際立っていた。

## 国語に関して、児童質問用紙の回答から(県平均±4ポイント以上のものについて)

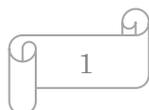
- 国語の授業の内容はよく分かりますか
- 読書は好きですか
- 国語の授業で意見などを発表するとき、うまく伝わるように話の組み立てを工夫していますか
- 今回の国語の問題について、解答を文章で書く問題がありましたが、どのように解答しましたか

## 算数A問題（主として知識）

- 県平均・全国平均を大きく上回っている。
- 観点別では、「量と測定」領域が特に高かった。
- ▼設問別では2問、平均を下回った。  
5 ÷ 9 を分数で解く  
立方体の展開図から示された面と平行な面

## 算数B問題（主として活用）

- 県・全国平均を大きく上回っている。
- 問題形式を見ると「記述式」の形式が特によくできている。
- ▼設問別では1問、平均を下回った。  
学校全体の人数に対するハンカチとティッシュの両方を持ってきた割合を表すグラフを選ぶ。



## 算数に関して、児童質問用紙の回答から(県平均±4ポイント以上のものについて)

- 算数の勉強は大切だと思いますか
- 算数の授業の内容はよく分かりますか
- 算数の授業で新しい問題に出合ったとき、それを解いてみたいと思いますか
- 算数の授業で公式やきまりを習うとき、そのわけを理解するようにしていますか
- 算数の授業で問題の解き方や考え方が分かるようにノートに書いていますか

## 児童質問紙から (平均よりも±4ポイント以上のもの)

- ◎ 毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか
- ◎ 携帯電話やスマートフォンの使い方について、家の人と約束したことを守っていますか
- ◎ 携帯電話やスマートフォンの使い方について、家の人と約束したことを守っていますか
- ◎ テレビを見る時間やゲームをする時間などのルールを家の人と決めていますか
- ◎ 家で、自分で計画を立てて勉強をしていますか
- ▼ 普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、テレビやビデオ・DVDを見たり、聞いたりしますか
- ▼ 普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、テレビゲーム(コンピュータゲーム、携帯式のゲーム、携帯電話やスマートフォンを使ったゲームも含む)をしますか
- ▼ 普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、携帯電話やスマートフォンで通話やメール、インターネットをしますか(携帯電話やスマートフォンを使ってゲームをする時間は除く)

→平均と比べ、生活習慣が身につけていることがわかる。また、テレビやネット、ケータイに費やす時間は少ない。家庭での約束やコミュニケーションが行き届いていることがわかった。

- ◎ 自分には、よいところがあると思いますか
- ◎ 友達の前で自分の考えや意見を発表することは得意ですか
- ▼ 学校の授業などで、自分の考えを他の人に説明したり、文章に書いたりすることは難しいと思いますか
- ▼ 外国の人と友達になったり、外国のことについてもっと知ったりしてみたいと思いますか

→平均と比べ、学習に対して自己評価が高く、自信につながっていることがわかった。外国に対して興味が低くでていることも、「自分はよく知っている。」という自信の表れではないかと考えられる。

- ◎ 地域や社会で起こっている問題や出来事に関心がありますか
- ◎ 新聞を読んでいますか
- ◎ 「総合的な学習の時間」では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか

- ◎ 5年生までに受けた授業では、先生から示される課題や、学級やグループの中で、自分たちで立てた課題に対して、自ら考え、自分から取り組んでいたと思いますか
- ◎ 5年生までに受けた授業では、自分の考えを発表する機会が与えられていたと思いますか
- ◎ 5年生までに受けた授業で、学級の友達との間で話し合う活動では、話し合う内容を理解して、相手の考えを最後まで聞き、自分の考えをしっかりと伝えていたと思いますか
- ◎ 5年生までに受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組み立てなどを工夫して発表していたと思いますか
- ◎ 5年生までに受けた授業の中で目標（めあて・ねらい）が示されていたと思いますか
- ◎ 5年生までに受けた授業の最後に学習内容を振り返る活動をよく行っていたと思いますか
- ◎ 学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思いますか
- ▼ 先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれますか
- ▼ 5年生までに受けた授業で扱うノートには、学習の目標（めあて・ねらい）とまとめを書いていたと思いますか

→学習意欲が非常に高く、学習が身につけている自信もついている。そのため学習に対する要求も高く、「もっと教えてほしい。」「もっとしっかりまとめたい。」という要求が高い。

- ◎ 人が困っているときは、進んで助けていますか
- ◎ いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか

→友だちとの関係をよく意識している。誰かの役に立ちたい、助けたい、という思いが非常に高い。

## 児童質問紙のクロス集計の結果から

学習（学校・家庭・学習塾等）に関する事項、家庭生活や生活習慣に関する事項など合計85項目の質問に対する結果とテストの得点の相関を調べ考察した。

当然の結果ではあるが、学習に対する意欲の高い児童ほど得点が高いことがわかった。特に「学級会などの話し合いの活動で、自分とは異なる意見や少数意見のよさを生かしたり、折り合いをつけたりして話し合い、意見をまとめていますか」、「友達と話し合うとき、友達の考えを受け止めて、自分の考えを持つことができているか」など、相手の話に耳を傾ける意識をしている児童ほど学習効果が高いことがわかった。また、学力上位の児童ほど「相手に自分の思いを伝えることは難しい」と感じていることもわかった。

意外にも学習塾に通っている児童とまったく通っていない児童との得点の比較では、ほぼ差は見られなかった。また、家庭や学習塾での学習時間と得点での相関でもほぼ有意差は見られなかった。それよりも、「毎日同じ時間に起床・就寝しているか」「学校の宿題をやっている」等の生活習慣に関することや、「自分には良いところがあると思うか」「授業で学んだことを、ほかの学習や普段の生活に生かしていますか」「先生は自分を認めてくれる」等、自己肯定感に関する質問の方が大きく得点の相関関係がみられた。また、「学校へ行くのは楽しい」「好きな授業がある」等の学校生活での満足度に関する項目でも大きな相関関係が見られた。

集計結果から、勉強時間を増やすことよりも、よりよい生活習慣を身につけさせること、自己肯定感を高め自信を持たせること、よりよい学級経営を行い、学校・学級を居心地のよい場所にするの方が学力を上げるた

めに効果的であると言える。

## 考察（国語・算数の結果と児童質問用紙の回答結果から）

児童質問用紙の結果から、国語・算数ともに教科の学習に対する関心・意欲が高いことがわかる。学習意欲が児童の学力につながってきていることがうかがえる。また、本校の研究主題である「探究」の視点から児童自らが疑問を持ち、課題を解決する学習を心掛けてきたことから、児童が「相手の伝えたい内容をくみ取ること」「自分の考えを相手にわかりやすいように工夫してきたこと」を意識して学習に取り組めるようになってきたという成果につながった。

### ○授業改善について

#### ・「相手にわかりやすく伝える」ことを意識した表現の工夫

「書く」ことも「話す」ことも目的は伝えることにある。と意識させる学習の構築をしていくこと。

#### ・さらなるアクティブラーニングの推進

「主体的で対話的な深い学び」の中で、特に「深い学び」を意識して学習を展開することで学んだことを活用して新たな学習に結び付けていく学習の工夫をすること。